

	自ら応募した者								応募の理由
	氏名	性別	年齢	職業	経歴 職名・役職等	農業経営状況		認定農業者 の有無	
						作付内容	耕作面積		
1	波澄 洋子	女	68	無	昭和44年4月から平成23年3月まで志木市役所に勤務し、行政事務に携わる。 平成23年7月から平成28年3月まで生活保護支援相談員として勤務し、社会福祉事務に携わる。 また、平成25年1月から、あさか野農業協同組合女性部宗岡支部の組織ににおいて活動し、平成31年4月からは班長として現在に至っている。	無	無	無	志木市は宅地化され、住宅の密集する都市型農業で、広大な土地に果樹や畜産、田畑を耕し作物を生産するなど、大規模農業のようにはいかない志木市の現状があります。 農業従事者にとって、相続等により田畑を手放さなければならなかったり、高齢化や就労による後継者不足など、様々な問題が多いと思われます。 私の住む宗岡地域でも田んぼがいつの間にか宅地になり、建売住宅が建ち並ぶ様を見えています。野菜や米作りなど、志木市の農業の活性化や継続を願って直面する課題と向き合うとともに、農地の売買や農地転用、遊休農地など、農地に関する行政の一翼を微力ながら担いたいと思い、農業経験はありませんが、この度、農業委員会委員の公募があることを知り、応募したいと思います。